

ふるさとの島を4D計測 ~宇久ストリートビューの製作~

宇久島をまるごと記録する!

島の弱点を強みに— 小中高一貫教育

長崎県の五島列島最北部に位置する宇久島は、過疎化が進んでいる。島内の学校は宇久高等学校、佐世保市立宇久中学校、同宇久小学校の3校。子どもの数が減少するなか、より充実した教育を実現するため選択したのが連携型小中高一貫教育だ。宇久高等学校の石山雅晴校長は「高校だけだと生徒数が限られてしまう。小学生から高校生まで、一緒に活動することで、刺激の質と量が大幅に高まることを期待しています」と話す。

6月20日に「小中高合同海岸清掃」が行われた。曇り空の下、小学生・中学生・高校生の混成チームに地域のボランティアも加わりゴミや漂着物を集めた。石山校長も「高校生が小学生、中学生をしっかりとリードする姿は頼もしい」と活動に手応えを感じていた。



宇久島の小中高生全員集合



長崎県立宇久高等学校



左から 高橋先生(小学校)、高田先生(中学校)、森田先生(高校)



スマホで確認しながら島を撮影



小中高生がチーム毎に海岸清掃

●実施担当

石山雅晴 校長

●活動のモットー

宇久だからこそやれることを追求したい。キーワードは「宇久にないものを創造する」、「宇久の可能性を広げる」、「宇久の弱点を強みに変える」。

学校概要

長崎県立平戸高等学校宇久分校として開校。2016年に独立校として50周年を迎えた。校訓は「自律」、「積極」、「創造」。

設立: 1949年

生徒数: 20人

所在地: 長崎県佐世保市宇久町平1042番地

過去と出会う4Dストリートビュー

科学教育を通じた人材育成の取り組み (UkuLabo) も始まった。プロジェクトの一つが「ふるさとの島を4D計測～宇久ストリートビューの製作～」だ。「グーグルのストリートビュー機能が宇久島では提供されていないと知って、それなら自分たちの手で作ってみようということから始まった」と石山校長は振り返る。作業は、まず三脚に360度カメラを備え付け、10メートルごとに撮影。得られたデータをウェブ上で見られるように画像処理するというところまでの作業を小中高生で分担して行う。

宇久ストリートビューには、グーグルにはない機能もある。それが4D機能だ。同じ場所の映像を毎年撮影し続けると、画像をクリックするだけで、その場所の過去の映像を見ることができる。「宇久にないものから、世界にないものへの挑戦。この経験と自信が、次世代を担う人材を育ててくれる」と石山校長は期待する。(平成29年度プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索